

大藪町 地区防災計画

年間活動テーマ 「みんなの防災」 ・ 「毎日の防災」

～ 「新たな防災文化」 を育み

防災力（＝地域力）の高い町にするために ～



2018年9月 町内一斉の防災訓練 <近所の助け合いで避難する様子>

2020年度版

大薮町 地区防災計画

< 目 次 >

I 自主防災組織の運営指針

- | | |
|----------------|---|
| 1. 自主防災組織の独立運営 | 1 |
| 2. 規約の策定及び改訂 | 1 |

II 地区の特性

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1. 自然特性と災害リスク
(1)水害 (2)火災 (3)地震 | 1~2 |
| 2. 歴史と社会特性 | 2 |
| 3. 防災地図 | 3 |

III 基本的な考え方

- | | |
|-----------|-----|
| 1. 基本方針 | 3~4 |
| 2. 活動計画事項 | 4 |

IV 防災活動の内容

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 防災組織委員の編成と役割（平常時と有事） | 5 |
| 2. 防災防犯意識と知識の普及 | 6~7 |

	(1) 普及事項 (2) 普及方法 (3) 普及実施時期	
3.	防災訓練の種別と実施計画	7～8
	(1) 訓練の種別 (2) 個別訓練の種別 (3) 個別訓練の内容 (4) 総合訓練 (5) 訓練実施計画 (6) 訓練の時期及び回数	
4.	種別訓練の内容	8～11
	(1) 情報の収集と伝達 (2) 初期消火 (3) 救出救助 (4) 救護 (5) 避難誘導 (6) 給食給水と分配 (7) 複合災害への対応	
5.	防災資機材の管理	12
6.	災害対策本部の設営と運営 (発災時の活動)	12～14
	(1) 情報収集及び情報提供 (2) 減災対策事項の伝達と安否確認 (3) 組織委員への出動要請 (4) 防災資機材の貸し出し	
7.	プラス防災への取り組み	14

V 実践の検証

1.	防災訓練や普及活動実施の検証と課題	14～15
	・ 検証による課題事項	
2.	地区防災計画の見直し	15

VI 今後の目指すところ

1.	近未来に向けた新しい防災組織の在り方	16
2.	災害に強いコミュニティの形成	16

VII 運営参考資料 (別紙)

- | | | |
|----|------------|---------|
| 1) | 大薮町自主防災会規約 | (運営ルール) |
|----|------------|---------|

- 2) 防災診断書 (現状把握)
- 3) 一時避難場所別責任者と避難者数 (現状把握)
- 4) 防災地図 (大薮町北部、南部) (拡大地図で訓練と発災時に使用)
- 5) 大薮町災害対応手順書 (啓発と訓練用)
- 6) 年間活動計画表 (計画)
- 7) 組織委員名簿と連絡網 (組織委員用) (発災時に使用)
- 8) 緊急助け合い連絡網 (町内全戸用) (訓練と発災時に使用)
- 9) 大薮町消火マニュアル (訓練で使用)
- 10) 組織委員出動リスト (訓練と発災時に使用)
- 11) 資機材持出しリスト (訓練と発災時に使用)

- 12) 安否確認と要配慮者支援リスト (訓練と発災時に使用)
- 13) 防災資機材管理表 (平時の管理)
- 14) 防災だより (平時の情報誌による啓発)
- 15) みまわり隊巡回記録 (平時の管理)
- 16) 2019 年度訓練、研修、普及活動の実践記録
- 17) 2019 年度大藪町自主防災会活動報告 (次年度の課題と計画)

※ 上記の 4)、7)、8)、10)、11)、12) の資料については、
発災時に使用するため、役員は緊急事態に常備しておく。

大薮町自主防災会規約

2020年 1月 19日 下線部の改訂 (総会にて承認)

2020年 2月 1日 より適用

防災診断書

- ・ 目的 聞き取り調査による現状把握と意識の改善
- ・ 実施日 7月中旬～7月下旬
- ・ 担当 生活班
- ・ 責任者 担当副会長

一時避難場所別責任者と避難者数

- ・ 北お旅所 (門野 良博 59名)
- ・ 神明神社 (北村 幾 48名)
- ・ カラオケ照 (北村 善夫 16名)
- ・ 證大寺 (竹村 武彦 141名)
- ・ 西福寺 (尾本 啓芳 197名)
- ・ 南お旅所 (田中 敏一 62名)

2020年 2月 1日 現在

大藪町災害対応手順書

- 災害の種類によって、対応の仕方を町内で共有

- ・ 氾濫や風水害の対応
- ・ 地震発生時の対応
- ・ 日常火災発生時の対応

- ・ 目的 平常時の訓練と発災時の対応に使用

- ・ 更新日 2020年 2月 1日

組織委員出動リスト

資機材持出しリスト

- 「資料 10、資料 11」を使って発災後の運営を行う
 - ・ 誰と誰が
 - ・ 何をどれだけ持って
 - ・ 何処へ行って
 - ・ 何をするのか

- 「資料 4 防災地図」の3点セットで運営する
 - ・ 目的 平常時の訓練及び発災時の冷静な対応に使用
 - ・ 更新日 2020年 2月 1日

安否確認と要配慮者支援リスト

- 自治会班毎に発災後の「安否確認」を実施
- 要配慮者への支援は、原則同班内で支援活動を実施
- ・ 方 法
 1. 「資料 8 緊急助け合い連絡網」を使ってリストに記入
 2. 日頃から班内及び当事者間で話し合い、担当ブロック長は支援者リストを作成
- ・ 目 的
 1. 発災後の生存確認と、行方不明者の搜索救助に繋げる
 2. お互いが、あらゆる人の命を支え合う
- ・ 担当者 自治会班毎の避難誘導班と生活班
- ・ 責任者 担当ブロック長(北、中、南ブロック)
- ・ 更新日 2020年 2月 1日

大藪町消火マニュアル

- 災害火災時は、本会の共助による消火活動を実施
- 普通火災時は、公助と共助による消火活動を実施

- ・ 方 法

消火訓練時に使用

- ・ 目 的

誰もが同じ方法で実施することで、ケガなく正しい方法の消火活動を確認し合う。

- ・ 担当者 消火班

- ・ 責任者 担当副会長

- ・ 改訂日 2020年 3月 1日 (2019年6月作成)